乳の学術連合

2026 年 10 月 1 日

研究機関　各位
研究者　　各位

乳　の　学　術　連　合
牛乳乳製品健康科学会議
乳の社会文化ネットワーク
牛　乳　食　育　研　究　会
一般社団法人Ｊミルク

2027 年度 『乳の学術連合』 学術研究公募のご案内

謹啓　時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度『乳の学術連合』では、牛乳乳製品の価値向上に繋がるとともに乳を通じて社会に貢献するための多種多様な情報を広く収集・発信することを目的に、「2027 年度『乳の学術連合』学術研究」として、一般社団法人Ｊミルクと共同で、構成組織である「牛乳乳製品健康科学会議」、「乳の社会文化ネットワーク」、「牛乳食育研究会」の各分野に係る学術研究を下記の通り公募いたします。

つきましては、公募の趣旨および要領をご理解いただき、公募への積極的なご参加ならびに関係者各位に御承引いただきますようお取り計らいをお願い申し上げます。

謹白

記

＜乳の学術連合＞

我が国における牛乳乳製品の消費の維持・拡大及び酪農乳業と生活者との信頼関係の強化を図っていく観点から、牛乳乳製品の価値向上に繋がる多種多様な情報を「伝わり易く解かり易い表現」として開発し、業界関係者及び生活者に提供することを目的とした健康科学分野・社会文化分野・食育分野の専門家で構成する組織の連合体です。

（※）健康科学分野の組織　：　「牛乳乳製品健康科学会議」
乳の社会文化分野の組織　：　「乳の社会文化ネットワーク」
食育分野の組織　：　「牛乳食育研究会」

１．2027 年度 『乳の学術連合』 学術研究

組織	分野	研究対象
牛乳乳製品健康科学会議	「牛乳乳製品健康科学」	「ヒトの健康における牛乳乳製品の価値」の向上に繋がる医学的・栄養学的・食品科学的な学術研究
乳の社会文化ネットワーク	「乳の社会文化」	乳の生産・利用の特質とその形成過程や持続可能性、乳の価値創造活動など「乳」に係る社会的・文化的な学術研究
牛乳食育研究会	「食と教育」	乳を活用した「食に係る教育の新たな知見」に関する学術研究

２．募集（申請）期間

2026 年 10 月 1 日（木）～2026 年 12 月 31 日（木）

３．学術研究公募内容

各分野の公募内容については、別紙 1～3 をご参照ください。

４．お問合せ先

詳しい内容は、次の Web サイトから各分野の公募内容、実施要領、応募方法について、ご確認ください。

＜乳の学術連合「学術研究の公募」＞
https://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2027/

＜事務局・お問い合わせ先＞
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2 丁目 1 番 20 号 御茶ノ水安田ビル 5 階
一般社団法人 J ミルク内 『乳の学術連合』 事務局　担当：山口
電話：03-5577-7494　FAX：03-5577-3236　E-mail：m-alliance@j-milk.jp

以上

別紙１

◆「牛乳乳製品健康科学」学術研究の公募について　（牛乳乳製品健康科学会議）

「ヒトの健康における牛乳乳製品の価値」の向上に繋がる医学的・栄養学的・食品科学的な学術研究

１．募集（申請）期間

2026 年 10 月 1 日（木）～2026 年 12 月 31 日（木）

２．募集テーマ

委託する学術研究のテーマは次の通りとする。

研究テーマ		内容
①	牛乳の成分や特徴的な栄養素が持つ医学的･生理学的･栄養学的価値に関する研究	牛乳乳製品に含まれる特有な成分や特徴的な栄養素が、様々なライフステージにおいて持つ医学的･生理学的･栄養学的価値の新たな発見、および/あるいはその機序の解明に関する、基礎研究、臨床研究（観察研究･介入研究）、研究レビュー。 ｷｰﾜｰﾄﾞ： 乳成分、乳たんぱく質、カルシウム、乳糖、乳脂肪、乳ペプチド、カゼインフォスフォペプチド（CPP）、中鎖脂肪酸、天然型トランス脂肪酸、乳脂肪球被膜、エクソソーム、乳酸菌発酵産物、プレバイオティクス、プロバイオティクス
②	食品としての牛乳乳製品やこれを構成要素とする食事の健康への役割に関する研究	食品としての牛乳乳製品や、牛乳乳製品を構成要素とする献立･食事パターンが、様々な状況においてヒトの健康の維持･増進、疾病の予防、身体機能の向上に果たす役割に関する基礎研究、臨床研究（観察研究･介入研究）、研究レビュー。 ｷｰﾜｰﾄﾞ： 牛乳、発酵乳（ヨーグルト）、脱脂粉乳（スキムミルク）、クリーム、バター、チーズ、学校給食牛乳、給食、宅配牛乳、乳和食、フードマトリクス、デイリーマトリクス、食事パターン
③	女性の健康に対する牛乳乳製品の有用性に関する研究	女性特有の健康課題の解決に対する牛乳乳製品の有用性に関する基礎研究、臨床研究（疫学的研究、介入研究）。 ｷｰﾜｰﾄﾞ：女性ホルモン、妊娠、出産、育児、月経トラブル、月経前症候群（PMS）、プレコンセプションケア、貧血、女性の低体重/低栄養症候群（FUS）、女性アスリートの三主徴（FAT）、更年期障害

※　ｷｰﾜｰﾄﾞは例示であり、これらに限定されるものではない。

３．研究採用数

上記をテーマとする研究計画の応募申請の中から 10 件程度を採用する。

４．応募資格

国内の大学および短期大学、高等専門学校、国・地方公共団体の研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている個人またはグループの研究者等（大学院生含む）とする。

５．委託の要件

（1）未発表の研究であること。

（2）研究については、「健康科学会議」研究評価委員会（以下、「研究評価委員会」という）に報告書を提出し、評価を受けること。

（3）外部への研究発表に際しては、事前に「健康科学会議」に了解を得るとともに、「健康科学会議」および「Ｊミルク」の学術研究費の助成を受けたことを明らかにすること。

（4）研究成果の全部もしくは一部を刊行し、または発表した場合は、その刊行物または別刷の3部を添付して、「健康科学会議」および「Ｊミルク」に報告しなければならない。

（5）研究成果は、原則として、研究期間終了後できるだけ速やか（2 年以内）に学術論文として投稿、公表すること。

（6）研究対象（材料）について

研究対象（材料）は、特定の商品ではなく、牛乳または乳製品共通の価値向上に繋がる、一般化できる材料を対象とする。

（7）動物実験について

公的に実施義務のない動物実験はできる限り代替法等による研究で実施すること。

６．委託研究期間

原則として1年を超えないものとする。但し、研究の内容によっては、最長3年まで認める場合もあるが、1年を超える期間の研究を申請する場合は、全期間にわたる研究計画・支出計画を申請書に明確に記すこと。なお、年度ごとに中間報告を行い、成果が認められない場合は、研究委託を中止する場合がある。

７．委託研究費

1件当たり原則として150万円(消費税込)以内とする。

※個人契約で実施する場合は、所得税法等の規定により源泉所得税の課税対象となります。

９．選考方法

「健康科学会議」学術研究選考委員会が、必要に応じ各分野の専門家の意見を参考とし、決定する。

＜選考委員会＞

委員長	中村　丁次	（公益社団法人日本栄養士会　代表理事会長）
委員	上西　一弘	（日本栄養大学栄養学部栄養生理学研究室　教授）
委員	岡山　明	（合同会社生活習慣病予防研究センター　代表）
委員	大日向　耕作	（京都大学大学院農学研究科　准教授）
委員	小川　純人	（東京大学大学院医学系研究科　教授）
委員	川原　貴	（一般社団法人大学スポーツ協会　副会長）
委員	桑田　有	（元 特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 副理事長）
委員	齋藤　忠夫	（東北大学　名誉教授）
委員	下条　直樹	（千葉大学附属病院 アレルギーセンター　客員教授）
委員	戸塚　護	（東京農業大学生命科学部分子微生物学科　教授）

９．事務局・お問い合わせ先等

詳しい内容は、次の Web サイトから各分野の公募内容、実施要領、応募方法について
ご確認ください。

＜乳の学術連合「学術研究の公募」＞
https://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2027/

＜事務局・お問い合わせ先＞
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2 丁目 1 番 20 号 御茶ノ水安田ビル 5 階
一般社団法人 J ミルク内「牛乳乳製品健康科学会議」事務局　担当：岩本・山口
電話：03-5577-7494　FAX：03-5577-3236　E-mail：m-kenkou@j-milk.jp

以上

別紙２

◆「乳の社会文化」学術研究の公募について　（乳の社会文化ネットワーク）

乳の生産・利用の特質とその形成過程や持続可能性、乳の価値創造活動など「乳」に係る社会的・文化的な学術研究

１．募集（申請）期間

2026 年 10 月 1 日（木）～2026 年 12 月 31 日（木）

２．研究領域

乳および酪農乳業に関する社会的・文化的な研究テーマを広く公募する。

以下に研究領域と例としてのキーワードを示す（ただし記載のキーワードに限定するものではない）。

研究領域	キーワード
酪農や牛乳乳製品の価値創造	地域資源循環、地域経済貢献、フードシステム連携、イノベーション・6 次産業化、地産地消とブランド化、教育・観光資源（教育ファーム・牧場民宿など）、*品質（価値認識・社会的評価）、社会的レジリエンス、歴史的形成
牛乳乳製品の食生活への受容	乳食文化の受容と定着、ライフステージ別受容、食卓経験と記憶、おいしさの社会的意味、メディア・広告の影響
日本の酪農乳業の持続可能性と SDGs への貢献	持続可能なフードシステム、環境負荷（気候変動対策、循環型資源利用）、社会的包摂、学校給食と牛乳の社会的意義（公正な栄養アクセス、食育、地域連携）、SDGs 目標への直接貢献
乳及び酪農乳業に関する社会的・文化的視点からの研究	牛乳乳製品の食文化的意義、酪農乳業の歴史的展開・社会経済的意義 （上記３つの研究領域に含まれないものを含む）

注）「乳」には牛乳の他にヤギ乳・ヒツジ乳等を含む。

*食品化学や食品製造に係る自然科学分野の研究テーマは本公募の対象外とする。

３．応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国･地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者（大学院生を含む）や研究グループ、専門家や実践者（教諭など）、もしくは特定の組織に属さない個人とする。

４．委託の要件

学術研究に係る委託要件は次のとおりとする。

(1) 未発表の研究であること。
(2) 採択された研究者等は、乳の社会文化ネットワーク（以下、社会文化 NT）及び J ミルクが東京都内で 2027 年 3 月に開催予定の学術研究計画発表会において、研究計画を発表すること。
(3) 研究については、「乳の社会文化」学術研究審査委員会（以下「審査委員会」という。）に報告書を提出し、評価を受けること。
(4) 研究成果は、原則として、研究期間終了後 2 年以内に学会誌等で公表すること。
(5) 研究成果を公表する場合、事前に社会文化 NT に連絡すること。
(6) 研究成果の公表に際しては、社会文化 NT 及び J ミルクの学術研究支援を受けたことを明示すること。
(7) 研究成果の公表後は、その刊行物（電子ジャーナルを含む）や発表資料等の写しを社会文化 NT に提出すること。

５．委託研究期間

同一研究計画に対する委託期間は、原則として 2027 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までとする。なお、研究成果を踏まえ、研究の継続を希望する場合は、改めて本学術研究への応募申請を行うことができる。

ただし、やむを得ぬ事情がある場合には、審査委員会の審査を経て、委託期間の延長を認めることができる。

６．委託研究費

年間 1 件当たり原則として 70 万円（消費税込）以内とする。なお、海外渡航調査を行う場合は 100～150 万円（消費税込）程度とする。

※ 個人契約で実施する場合、本委託研究費は、所得税法等の規定により源泉所得税の課税対象となるため、源泉徴収税を差し引いた金額を支払うことになります。
※ 本学術研究は、研究助成として業務を委託するものです。そのため、本委託研究費は全額を学術研究の調査・研究に充てるものとします。また、間接経費については、所属する研究機関等に対して免除手続き等を行うこととします。なお、やむを得ず研究機関等において間接経費が求められる場合は、本委託研究費の中で処理されるものとします。申請者はあらかじめ所属機関と間接経費について確認を行ったうえで申請してください。
※ 本委託研究の支出にあたっては、研究目的を達成するための必要性を十分吟味し、且つ、可能なものは相見積もりを取るなど、地域水準や社会通念に照らして適切な金額となるように努めてください。

7．選考方法

審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

＜審査委員会＞

委員長	小林 信一　（静岡県立農林環境専門職大学 名誉教授）
副委員長	小長谷　有紀（武雄アジア大学　学長、国立民族学博物館　名誉教授、中部大学 創発学術院 客員教授、佐賀女子短期大学 客員教授）
委員	阿久澤 良造（日本獣医生命科学大学　名誉教授）
委員	上田 隆穂　（学習院大学 名誉教授、環太平洋大学国際経済経営学部 特任教授）
委員	大江 靖雄　（千葉大学 名誉教授、東京農業大学 客員教授）
委員	小川 美香子（東京海洋大学学術研究院食品生産科学部門　准教授）
委員	中澤 弥子　（長野県立大学健康発達学部食健康学科　教授）
委員	前田 浩史　（日本酪農乳業史研究会 会長）
委員	南 直人　（立命館大学食マネジメント学部　教授）

8．事務局・お問い合わせ先等

詳しい内容は、次の Web サイトから各分野の公募内容、実施要領、応募方法について
ご確認ください。

＜乳の学術連合「学術研究の公募」＞
https://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2027/

＜事務局・お問い合わせ先＞
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2 丁目 1 番 20 号 御茶ノ水安田ビル 5 階
一般社団法人 J ミルク内「乳の社会文化ネットワーク」事務局　担当：勝野
電話：03-5577-7494　FAX：03-5577-3236　E-mail：m-shakai-nt@j-milk.jp

以上

別紙３

◆「食と教育」学術研究の公募について　（牛乳食育研究会）

乳を活用した「食と教育」に係る学術研究

１．募集（申請）期間

2026 年 10 月 1 日（木）～2026 年 12 月 31 日（木）

２．募集テーマ

委託する学術研究のテーマは次の通りとする。なお、「乳」とは、「食品としての牛乳乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」であり、全てのテーマは「乳」に係る研究である。また、「教育」とは、家庭教育、学校教育（幼・保を含む）、社会教育などである。

	テーマ	備考
1	学校・園教育における教科・領域等の「乳」を活用した教育プログラムの開発と検証	対象とする範囲：保・幼・小・中・高 キーワード： 教科・領域（特別活動、総合的な学習の時間）と乳（食品としての牛乳乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など）との関連した教育活動の実践ほか、栄養教諭等の連携、酪農乳業関係者が実施する酪農体験、工場見学等との連携
2	「乳」に関する食育的視点からの研究	食育における乳独自の価値を明らかにするための研究 キーワード：ライフステージ課題、社会課題との関連

３．研究採用数

上記をテーマとする研究計画の応募申請の中から 6 件程度を採択し委託する。

４．応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国･地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等（教職大学院・大学院生含む）、またはこれに付随する研究を行っている個人とする。

５．委託の要件

（1）未発表の研究であること。
（2）採択された場合、研究者等は、牛乳食育研究会及びＪミルクが 2027 年 3 月に開催予定の学術研究計画発表会において研究の計画を発表すること。
（3）研究については、食と教育学術研究評価委員会（以下、「評価委員会」という）に報告書を提出し、評価を受けること。
（4）研究結果は、原則として研究期間終了後 2 年以内に、学会での発表または学会誌及び学内紀要へ掲載すること。
（5）外部への研究発表に際しては、事前に牛乳食育研究会に連絡するとともに、牛乳食育研究会及びＪミルクの学術研究支援を受けたことを明らかにすること。
（6）研究成果の全部もしくは一部を刊行または発表した場合は、その刊行物または別刷の 1 部を添付して牛乳食育研究会及びＪミルクに報告すること。

６．委託期間

同一調査・研究課題に対する委託期間は、1 年単位とし、2027 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までとする。とする。ただし、研究テーマによって複数年の研究が必要な場合は、その限りではない。申請書に全体の研究計画の概要の他、各年の研究計画の概要がわかるよう記載すること。なお、複数年の場合には収支及び研究の中間報告を毎年実施する。

７．委託研究費の額

年間 1 件当たり原則として 70 万円（消費税込）以内とする。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100 万円（消費税込）以内とする。

※ 個人契約で実施する場合は、所得税法等の規定により源泉所得税の課税対象。研究費からの所得税の支出は認めない（本研究費は、全額を研究費として充てること）。
※ 本学術研究は全国の研究機関を対象とした公募型のプロジェクトであり、研究助成として業務委託する。本委託研究費は、全額を調査・研究費に充てる為、研究機関に支払う間接費等に関しては、必要に応じて所属機関内にて免除手続き等を行なう。やむを得ず本研究費にかかる間接経費を求める場合に限り、消費税を含めて申請額の中で計上する。なお、法人契約を希望する場合、申請者はあらかじめ所属機関と確認を行い、申請すること。

８．選考方法

評価委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

＜評価委員会＞

委員長	角屋 重樹（広島大学　名誉教授）
副委員長	木村 純子（法政大学　経営学部　教授）
委員	石井 雅幸（大妻女子大学　家政学部児童学科　教授）
委員	木下 博義（広島大学大学院　人間社会科学研究科　教授）
委員	柴　英里（東洋大学　食環境科学部フードデータサイエンス学科　准教授）
委員	藤本 勇二（武庫川女子大学教育学部教育学科　教授）

※若手研究者育成の観点から、1 名程度の採択を考慮することがある。

９．事務局・お問い合わせ先等

詳しい内容は、次の Web サイトから各分野の公募内容、実施要領、応募方法について
ご確認ください。

＜乳の学術連合「学術研究の公募」＞
https://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2027/

牛乳食育研究会事務局
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2 丁目 1 番 20 号 御茶ノ水安田ビル 5 階
一般社団法人 J ミルク内「牛乳食育研究会」事務局　担当：前
E-mail：m-shokuiku@j-milk.jp

以上